

法人実績報告

期間：令和4年4月～令和5年3月
(東松山第1事業課 手塚)

(単位:名)

	新規障がい者数				合計	総数
	知的	身体	精神	その他		
センター登録者数	10	5	13	1	29	802
就職者数	9	4	16	0	29	471
実習者数 (のべ件数)	5	5	22	0	32	
離職者数	15	0	7	2	24	

ご案内

当法人が「特定非営利活動法人ジョブコーチ・ネットワーク」より、事務局を受託し、実施しております「職場適応援助者養成研修」について、今年度の実施予定を下記にてご案内いたします。

※実践課程については、①②③のいずれかの会場を選択し、受講となります。(第70期は、①②の会場からいずれかを選択してください。)

詳細はホームページよりご確認ください。

▶ <https://jc-net.jp/>

令和5年度職場適応援助者養成研修 実施予定

開催期		(1)第68期	(2)第69期	(3)第70期	
受講申し込み期間		令和5年6月12日(月) -7月7日(金)	令和5年9月4日(月) -9月29日(金)	令和5年11月27日(月) -12月15日(金)	
基礎	会場	オンライン	オンライン	オンライン	
	日程	8月19日(土)-20日(日)	11月18日(土)-19日(日)	令和6年2月3日(土)-4日(日)	
実践	①	会場	東京/ 大妻女子大学 千代田キャンパス	大阪/ 未定	鹿児島/ 未定
		日程	9月8日(金) -10日(日)・11日(月)実習	11月24日(金) -26日(日)・27日(月)実習	令和6年2月10日(土) -12日(月)・13日(火)実習
	②	会場	釧路/ 釧路プリンスホテル	東京/ 大妻女子大学 千代田キャンパス	東京/ 大妻女子大学 千代田キャンパス
		日程	9月25日(月) -27日(水)・28日(木)実習	12月1日(金) -3日(日)・4日(月)実習	令和6年2月23日(金) -25日(日)・26日(月)実習
	③	会場	広島/ 広島オフィスセンター	宮城/ 未定	
		日程	10月13日(金) -15日(日)・16日(月)実習	12月10日(日) -12日(火)・13日(水)実習	

発行責任

〒355-0028
埼玉県東松山箭弓町1-11-7
ハイムグランデ東松山2階
特定非営利活動法人
東松山障害者就労支援センター
代表理事 若尾勝己

<http://www.zac-saitama.org>

☎ 0493-24-5658

✉ r-ship-c.honbu@blue.ocn.ne.jp



vol. 61

発行日：2023年5月1日

NPO 法人 東松山障害者就労支援センター

ZACNews

発行：特定非営利活動法人東松山障害者就労支援センター
電話/FAX (法人本部)：0493-24-5658



ザックニュース 2023年 春号

法人代表より挨拶 新年度に向けて

令和5年度のスタートとなりました。本年度は、総勢30名の職員体制で臨みます。新年度の始まりに際して、ぜひ職員の皆さん一人一人が目標を定め、そしてその目標を達成するために必要な活動を実践して欲しいと思います。

ところで、皆さんは「リッツ・カールトン」というホテルをご存知でしょうか…。新たな年度を迎えるにあたり、今回はこの企業の素晴らしい理念に触れ、私たちが日ごろ実践している「障害者就労支援」においても、法人としての在り方を含め、その果たすべき使命を今一度考えてみたいと思います。

「リッツ・カールトン」の起源は、約100年前に遡ります。当時のホテル王と呼ばれていたスイス人のセザール・リッツが「旅人が心からくつろげる場所を」とフランスのパリに「ホテル・リッツ」を開業したことから始まります。その後、イギリスの「カールトン」というホテルと一つになり、アメリカに進出したのが現在の「リッツ・カールトン・ホテル・カンパニー」となりました。1983年、アメリカに本社が設立されてから、いまでは全世界(日本では、東京・大阪・京都・日光・沖縄・ニセコ・開業予定の福岡)で約80か所以上のホテルを展開しているラグジュアリーブランドホテルの1つです。おそらく「宿泊はしたことないけど、名前だけは聞いたことがある」という方も少なくないかと思います。

私が初めてこのホテルのことを知ったのは、ある書籍がきっかけでした。それは、『リッツ・カールトンで学んだ仕事でいちばん大事なこと/林田正光・著/2004年第1刷発行』という本で、私自身がちょうどこの法人を前任者から引き継ぐタイミングでもありました。就労支援の現場で、ジョブコーチになることを目指し現法人に転職してきたのですが、わずか3年でプレイング・マネージャーとして組織経営に携わらなくてはなくなり、従業員の所得保障を考える立場となったその重圧に、日々不安を感じていた時でもありました。何か、私自身の不安を解消するための手掛かりとして、当時はこの書籍のようなビジネス本を読み漁っていたことを記憶しています。その中で、多く学んだことは、組織の継続や繁栄には、理念が

重要であるということを知りました。

この「リッツ・カールトン・ホテル」には、とても素晴らしいゴールドスタンダード(普遍的な基準とでもいうのでしょうか…)という、企業活動の根幹となる価値観や理念が結集された6つの項目(①クレド、②モットー、③サービスの3ステップ、④サービスバリューズ、⑤第6のダイヤモンド、⑥従業員との約束)から成る「企業理念」が掲げられています。この中の1つ「モットー」については、こんなことが書かれています。『ザ・リッツ・カールトン・ホテルカンパニーLLCでは、紳士淑女をおもてなしする私たちもまた紳士淑女です。をモットーとしています。この言葉には、すべてのスタッフが常に最高レベルのサービスを提供するという当ホテルの姿勢が表れています。』ホテルのスタッフには、様々な役割を持った働き手がいるのですが、その一人一人が、役割の違いを問わず、常にその役割を最高レベルのサービスとして提供することを求められており、それに応えるために何を成すべきかを一人一人が考え、実行しているのです。とても素晴らしい価値観であり、そしてシンプルにとっても困難さが伴う活動であるとも感じました。でも、この困難さをあたり前に実行し続けているからこそ、リーディングカンパニーとして存在し続けているのだと思います。

私たちが行う「障害者就労支援」においても、事業所ごとに求められる支援の質や内容が異なる訳ですが、役割は違っても、職員一人一人が常に最高の支援の提供を心掛けることができたなら、どんなに素晴らしいことでしょうか。そんなことが、法人としてあたり前のように「モットー」として継承されるような企業風土をしっかりと創って行かなければならないですね。職員の皆さん、ぜひこの「リッツ・カールトン・ホテル」のことについて、機会を見て書籍を広げてみてください。異業種の話かもしれませんが、私たちが参考にすべきイデオロギーに触れることができるはずです。

さあ、新年度です。私たちが目指す社会の創造に向けて、邁進して行きましょう！！

代表理事・若尾勝己

事業所別ニュース

法人本部・本部アセスメント室

第36回埼玉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会が開催されました

東松山第1事業課 木村(孝)

令和5年3月17日さいたま市埼玉会館にて行われました。この連絡協議会は定期的に開催しており、各センター設置圏域の地域課題や、職員資質の向上について議論しています。地域の就労支援の在り方について具体的な施策提案を協議するなど障害者就労の課題を話し合う場として機能しています。

今回は外部講師として社会福祉法人名古屋総合リハビリテーション事業団から 稲葉健太郎氏と山下宏司氏にご登壇いただき、第1部は基調講演として山下宏司氏から「視覚障害者の就労支援」について講義を受けました。視覚に障害がある方の就労上の課題について。移動や環境、コミュニケーションに関する困りごとなどの話がありました。例えば、食堂で好きなものが取れない、自動販売機の内容がわからない、上司にお酒を注げないといった普段私たちが何気なく行っていることでも難しい

ことがあり、その対応方法についてお話をいただきました。シミュレーション眼鏡を使って視覚障害の体験と就労に役立つ支援機器として拡大読書器、電子ルーペの体験をして貴重な経験もさせていただきました。

また、かつては あはき業が主だった視覚障害者の就労先も最近は技術の進歩で、事務作業まで広がりつつあるというお話も伺えました。拡大画面やロービジョン用の白黒反転画面、画面読み上げソフトの発達が著しいこと。しかし、就業先のパソコン環境等により、ソフトの活用も一筋縄ではいかず、名古屋総合リハビリテーションセンターのように実践ノウハウを積み重ねている機関が貴重であることもわかりました。こういった専門性の高い支援については、経験ある機関との協力が不可欠と感じました。今後も名古屋リハビリテーションセンターと連携しながら、視覚障害の方の就労支援についても実践していければと思いました。

第2部は連絡協議会の定例会を実施。今回の主な議題は、障害者就労における「雇用代行ビジネス」についてでした。各地域の雇用代行ビジネスの状況や動きについて、各センターの対応や今後の対応について意見交換をしました。これの良し悪しを問うものではありませんが、多様化の名の基に変化していく障害者雇用の現状から、今後我々支援機関がどう対応し、雇用の質を維持していくか、引き続き考えていきたいと思っています。

事業所別

スタッフリレートークコーナー

法人本部・アセスメント室
ほんま みつひろ



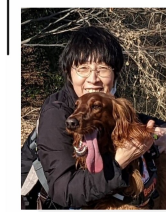
東松山第2事業所
すぎやま ゆみ



北浦和事業所
まえだ みきこ



久喜事業所
みうら みきえ



■入社年月
令和3年2月
■血液型 星座
A型 牡羊座
■趣味
寝ること
■休日の過ごし方
寝て過ごす
■自己紹介
座右の銘:
『果報は寝て待て』

■入社年月
令和4年3月
■血液型 星座
AB型 獅子座
■趣味
スクラッチアート 絵を書く事
■休日の過ごし方
日帰り温泉に行ったり、動物のいるカフェで過ごす時間がお気に入りです。
■自己紹介
東松山第2事業所で主に自立訓練を担当しており、生活面を含めて、就労に向けての土台作りをサポートして行きたいと思っています。よろしくお祈いします！

■入社年月
平成25年4月
■血液型 星座
A型 獅子座
■趣味
スポーツ観戦
■休日の過ごし方
愛犬と公園に散歩に行ったり、越谷アルファーズの試合観戦をして過ごすことが多いです。
■自己紹介
ジョブコーチやアセスメントの管理をしています。いつもフラットな気持ちで業務をすることを心掛けております。

■入社年月
令和4年5月
■血液型 星座
A型 獅子座
■趣味
海外のドラマを見ること
■休日の過ごし方
犬が走れる大きな公園に行く
■自己紹介
就労支援の仕事は奥が深いなと感じます。これからも日々勉強してまいります。

活動報告

去る令和5年1月24日、1月25日に大宮ソニックシティにて、『令和4年度ジョブコーチ基礎研修inさいたま』を開催いたしました。

本研修では2日間を通して、
①ジョブコーチの基本的な支援プロセスや技術を通じて、就労に必要な支援技術・知識の基礎を学ぶこと。
②事例研究やグループワークを通して、支援者間・地域間のネットワーク促進を目指すこと。
を目的にしており、「事例研究」や「演習」等も取り入れて、就労支援の現場ですぐに活用できる、実践的な研修を行いました。

今回は25名の方(就労支援機関68%、障害者施設職員24%、企業8%)に参加いただき、受講者同士の積極的な意見交換の場もみられました。この研修では、当法人の広報担当者の根本スタッフが現地にて取材を行いました。
(記 前田 美喜子)

ご紹介頂きました根本です。今回は、研修の見学と受講者の方へのインタビューを行いました。会場は静かで受講者の皆さんは講義に集中しており、アセスメントの事例が出されると静かだった会場にベン音が響いておりました。演習ではグループにて机を寄せ合い、法人職員演じる支援対象の方の職場の様子から、起こりうる問題とその改善案について、活発な意見交換を行っていました。インタビューでは以下の項目についてお聞きし、参加者の方に右の通りお答え頂いています。

Question

- ①事業所・企業等の型、
- ②受講のきっかけ、
- ③受講した感想、
- (④今回の研修での学び)

皆様が、この研修よりしっかりと知識を吸収なさったことが伝わってくる、実習風景とインタビューとなりました。インタビューに応じていただいた方々、ご協力ありがとうございました。(根本)

interviewee 01

- ①就労継続支援B型・生活訓練
- ②仕事を通じて埼玉県障害者雇用総合サポートセンター職員と知り合う機会があったことから受講しました。
- ③ジョブコーチの最新について知ることができて良かったです。今回の研修では、ジョブコーチの歴史について知ることができたことが一番の収穫でした。初期のジョブコーチはパートの方が行うなど専門的な支援ではなかったため、12~13年で地位が向上していき驚きました。障害者の方へ関わろうとしてくれている人が増えている現状を感じ、嬉しさと同時に感銘を受けました。

interviewee 02

- ①市町型障害者就労支援センター 就労支援員
- ②就労支援を始めて1年目の今、ジョブコーチについてよく耳にしたため気にはなっていたものの、国の「職場適応援助者養成研修」は必要日数が多く、二の足を踏んでいました。そんな折、より短い時間で受講可能な本研修の案内が届いたことをきっかけに、その研修に参加しました。
- ③今までの面接は自己流の方法で行っていたため、話が聞けるときと聞けない時がありました。今回の研修では、相違点に気づくことができ、話の聞きだし方が分かって良かったです。

interviewee 03

- ①就労移行支援事業所 就労定着支援員
- ②去年4月にジョブコーチの職に就いたばかりのため、基礎から学びたいという思いがあり、研修の案内メールが届いたことがきっかけで参加しました。
- ③研修を受けた結果、勉強不足を痛感しました。基礎的な技術が必要だと感じていた中で、講師やグループワークで出た意見が非常に参考になりました。今後も別研修にはなりますが、引き続き受けてまいりたいと思います。
- ④今までは相談において、相手の話を傾聴することが良いと思っていましたが、今回の研修で、問題解決していくことが大切だと気がきました。